

令和6年9月

作成者 広報広聴委員会

稲沢市議会 第7回意見交換会報告書

■ テーマ 「稲沢市の子どもたちのより良い教育環境について」

(同じテーマに対し少人数で行うために、3つのグループに分かれて、意見交換会を行いました。)

グループ割	グループA	グループB	グループC
参加団体	市内公立小学校の保護者代表の方(42名)		
開催日時	令和6年8月24日(土) 10:00～11:30		
開催場所	勤労福祉会館		

■ 報告内容 参加者からの主な意見

※議員の発言は参加者の意見には記載しておりません。



グループA



グループB



グループC

各グループの参加者からの主な意見

いただいたご意見を項目別にまとめました。

保護者と教員のコミュニケーションについて

- ・ PTA は保護者と教員との集まりになるが、教員とコミュニケーションを取れていない面がある。保護者と教員が繋がれる、そういう機会を作ってもらえると良い。
- ・ 当学校では、6 月に PTA 祭りという大きなイベントがあったが、教員は不参加であったため教頭先生に話を聞くと、土曜日開催のため働き方改革の観点で難しいと話された。昔に比べて、教員とのコミュニケーションが薄れている。
- ・ 困りごとがあった時は、保護者で話し合っ、どうしてもという時は教員に意見をもらう。以前と比べて、教員と保護者間のコミュニケーションの機会は少ないかもしれない。
- ・ 教頭先生と話す機会はあるが、他の教員と話す機会はない。困りごとがないというのものもあるし、保護者側に負担をかけないよう教員が配慮頂いている面もあると思う。
- ・ また、コロナ禍前の状態が分からないのもあり、教員は行事に参加しているという感じ。
- ・ 教員とのコミュニケーションはできている。土曜日にある学校公開日の時に廃品回収も教員が手伝ってくれる。
- ・ 支援クラスでは、個々のクラスとのコミュニケーションが取れていないといけなが、個々のクラスとの距離がある。親との意見交換、支援員以外の先生の勉強会はあるのか。
- ・ 学校と保護者の連絡ツールである tetoru を PTA と保護者間で利用できると便利である。
- ・ 保育園や幼稚園で運動指導をしていて、保育園の大きさや園児の数の違いを実感している。
- ・ PTA 主催でアンケートをとりたくなった時に、tetoru が使えないと一斉配信ができず、手紙しか手段がない。tetoru が使えると QR コードでアンケートが簡単にでき、タイムリーな発信や、回収率を上げることが可能となる。校長先生に聞いたところ、tetoru の使用を市が止めているとのこと。止める理由があれば明確に示してほしい。

タブレット端末について

- ・ タブレット端末での授業が始まったが、目が悪くなる。
- ・ タブレットでの視聴で済ませることも増え、映像を見るのみで実物に実際に触れる機会が減っている。
- ・ 登下校の時に毎日タブレット端末を持ち帰っていて、大変。タブレット端末の中に教科書の内容が入って、学校では教科書、自宅ではタブレット端末で復習ができると良い。
- ・ タブレット端末の起動が遅く、授業に支障が出ている。
- ・ タブレット端末のせいで外で遊ぶ機会が減り、授業でも家でもタブレット端末を見ている。
- ・ ICT 支援員さんが少なく、タブレット端末のエラーなどの対応が追い付かないようである。

通学路・防犯・熱中症対策について

- ・ 通学路が洪水で水に浸かってしまうことがある。
- ・ 通学路で草が伸びて危険を感じることもある。
- ・ 南大通り線の交通量が多いところで、旗当番の保護者が車に轢かれた事故があった。それから保護者の間で通学路の安全面への不安の声があがっている。スクールガードも居て下さっているが、その他の対策もしてほしい。
- ・ 最近、公園で児童が盗撮される事件があり、警察が動き、犯人が逮捕された。子ども同士で遊んでいる時に、どのように防犯対策をしているのか。
- ・ 下校時だけでも、特に低学年の子にスクールガードが付いてくれているため、ありがたい。行きは、保護者が旗当番を交代でしている。

- ・帰宅してから、遊びに出て用水路に落ちてしまった子がいるため、注意喚起のための声かけをしている。しかし、遊び先を把握している保護者もいるなど、保護者ごとに考え方が違うため、難しい面もある。
- ・学校であれば安心できるため学校で遊ぶよう促したり、一人にならないよう公園に行くなら誰かと帰る時は一緒にと声掛けしている。
- ・大勢で遊ぶことが多いため、心配していない。ただ、通学団の人数が少ないため、保護者間で連絡を取り合って対応している。
- ・不審者情報が多く、気になっていた。公園も危険であり、屋外は暑いため、屋内で遊べる場所がほしい。
- ・清水小学校で久しぶりに夏祭りがあったが、帰宅時に驚くくらい真っ暗で携帯電話で照らしながら帰った。もう少し街灯があると良い。
- ・通学路の雑草がすごく、雑木林も邪魔になるほどの状態。PTA でも通学路点検はしていて、先生たちも把握されており、対応してもらいその時はきれいになるが、すぐ草が生え追いつかないのが現状。
- ・登下校時に地域の見守りが少ないという問題がある。名古屋市はシルバーさんへの旗当番の補助があるので稲沢市でも補助して欲しい。
- ・長岡校区では1年生が一人で30分かけて下校することがある。セーフティプラスワンが導入され一斉下校があるが、週に1日は低学年のみの下校があり不安を感じる。セーフティプラスワンは学校の対応か。低学年のみの下校をなくすためには学校へ要望すればよいのか。
- ・下校時間に気温が35度を超える時がある。子どもが熱中症にならないか心配。防犯協力の家のように、給水協力の家があるとよい。
- ・下校時の給水協力については是非、検討いただきたい。
- ・熱中症対策が気になる。下校時には水筒の水もなくなるため、浄水器を置いて、熱中症対策をしてほしい。
- ・登下校の時に保冷剤を持たせているが、下校時には溶けて使えない。熱中症の子どもが出た時に学校側に相談してから、半月ほどで下校時まで冷凍庫で冷やしてもらえるようになって感謝している。
- ・熱中症対策として夏休みを長くして春休みや冬休みを短くしている自治体もある。

学校生活・統廃合について

- ・サッカー、バスケの特別教室がなくなった。運動の機会は設けてほしい。宿題も少なく、部活も少ないと、家にいたらスマホを見るしかない。中、高3年間はあつという間だが、小学校6年間は長い。地域での見守りで夏休みに体育館の開放を行って欲しい。
- ・プールの授業をいっそのことなしにして、着衣泳にしてはどうか。
- ・掃除当番の子が掃除をきちんとできていないため、学校のトイレが臭くて入りたくないと言っている。直接触れない子のために、ゴム手袋の用意などをお願いしたい。
- ・プールの授業はもともと8回くらいしかないが暑さで行えず、6回くらいしかない。温水プールで行っている小学校もあるので不公平ではないか。
- ・そろそろ給食をグループ食べにして欲しい。
- ・給食の食材の値上がりの影響で給食が以前より悪くなったそうです。
- ・中学校の部活の機会を確保して欲しい。
- ・名古屋市は部活動にプロが教えに来るそうです。
- ・LINE グループがいじめの温床になり、SNS の使用が深刻な問題になりつつある。先生方には道德の授業などで指導をしていただいているが、市で講師を呼んでいただくなど、SNS での危機管理の教育の場を設けていただきたい。また、啓発には子どもたちに人気・影響のあるタレントの起用がよいのではないか。
- ・夏場は暑すぎて、夏にプールができないし、体育館も使用できない。領内の児童クラブは基本室内だが、他の児童クラブではちょっとした水遊びや体育館で遊ばせてくれると聞いている。体育館にエアコンがあり、授業が行えれば、体力の向上に役立つのではないか。

- ・六輪小学校は道を隔てた場所にプール(井戸水で冷たい)がある。水着に着替えて歩道のない所を歩いてプールに行く。投石のいたずらもあったので、平和の温水プールや民間プールの利用ができるとよい。
- ・プールの老朽化が進んでいる。
- ・低学年からスポーツを楽しむ習慣を広げてほしい。タブレットの普及により休み時間もタブレットをいじっている子どもが増えた。プラスワンでスポーツへの関心を高めてほしい。
- ・学校に行けない子はタブレットでライブ配信の授業を見ることができるが、朝起きられない子はオンラインを生で見られない。録画をアーカイブでみられないか。保健室登校しても支援員さんだと授業が受けられないので、そこでオンライン授業が受けられるとよい。
- ・tetoruでの部活の連絡が、仕事に行った後にくることもあるので、子どもも使えるようになる
とよい。
- ・市で動画教材を用意して、タブレットでみんながいつでも見られるようにしてはどうか。
- ・子どもの数も減っているため、給食費を無償化したり、第二子の保育料を無償化したりするなどして
ほしい。
- ・山崎小学校では田植え体験がある。子どもは田んぼに入るのが初めてで、泥に足をつけるのに抵抗があ
る子がいる。保護者の中でも汚れてほしくないと思う方もいる。年々、子どもたちが自然との関わり
方で苦手意識を持つ子が増えている印象を受ける。祖父江町の学校は畑を持つ学校が多いが、全市的に
行えると良いと感じた。
- ・坂田小学校では、自分で大豆を作って、味噌を作ったり、野菜を作って給食に入れてもらったりしてい
る。ただ、自校調理だから出来ている面もあると思う。センター化するとどうか。
- ・物価等の高騰により学校で遠足に出かける機会も減っており、バス代の補助等を市がしてくれると
良い。
- ・教科書を持って帰ってくるので、ランドセルが重い。
- ・新1年生に配布される“いなっピー”のランドセルカバーがナップサックに代わり利用者が減った。
1年生であることがわかったほうがよいとの意見がある。
- ・千代田の場合、ランドセルカバーは防犯上よくないとの意見を聞いたことがある。通学の距離が長い
こともある。地域によって課題も違ってくるのではないかな。
- ・保育園の時は先生が多く手厚く接していただいたが、小学校になると突き離される感じがおり親も
子も戸惑った。学校との連絡手段が疎かになったことを覚えている。
- ・千代田小学校はクラブ活動があるが、月に1回程度の頻度であり、子どもがもっとやりたがっていた。
- ・雨傘を兼ねた日傘を置き傘としてはどうか。また、学校からも日傘の利用促進を図ってほしい。
- ・保護者の方から学校の統廃合に関する多くの意見をいただいている。祖父江の保育園が2園に統合さ
れる説明を聞いた。そうなると、保育園で大人数、小学校で少人数、中学校で大人数になる。子どもた
ちの困惑を懸念する。不登校になりがちな傾向もある。
- ・長岡小学校は、現在、1年生10人で来年は8人になる。よりよい教育環境を考えた場合、1年生と
2年生で1クラスになるのは、親としては勉強の部分で心配。保護者へのアンケート調査をとってほし
い。年配の方は小学校がなくなることに対する反対が多いが、子育て世代は、子ども第一で考えた場
合、賛成が多いと思う。それを明確に数字で表すためにアンケート調査を希望する。
- ・どのようなスケジュールで統廃合を進めていくのか。子どもたちのことを第一に考えてほしい。休み時
間や体育の時間でやれることが限られてくる。授業で議論する際も、2、3人と10人では大きく教育
環境が異なる。
- ・丸甲小学校も児童が少なく、近い将来、長岡小学校と同じようになる。保育園の子がいるので統廃合の
アンケート調査をいただいた。個人的には統廃合に賛成。少ない児童の中で育つと社会性が不安。
遠足・キャンプ・修学旅行のグループ分けも寂しい。丸甲保育園にプラカードを持った反対派の方が
2回程、お見えになりアンケートを渡された。
- ・統廃合実施になった場合、その後の校舎の利用方法として防災機能なども設けて地域のモニュメンタ
ルな施設にしたらよいのではないかな。

その他

- ・校内の除草作業として保護者が年一回草刈りをしているが、参加できる保護者も限られており、手作業で大変。草刈機の導入や外注をしてほしい。
- ・小学校の体育館の冷暖房設備は統廃合もあり、予算で全校には難しくても、2校に1校つけるか、中学校にいくなどの対応もありではないか。
- ・食品ロスになるので残った給食は地域の方に配るなどしてはどうか。
- ・イベントでディズニーを呼ぶなどしてはどうか。
- ・子どもの体験格差が広がっていると耳にした。習い事の数の格差、習い事の送迎への負担、習い事の金額コストが高いので入れない。大阪府は習い事の補助があるそうなので検討してみてもどうか。
- ・緊急避難場所は稲沢市が決めているのか。長岡小学校は木曽川の近くに学校がある。木曽川の決壊はないと思っているが、危険な場所に避難することになる。長岡校区には高い場所がないので、介護施設等への変更はできないか。
- ・避難場所は地震、洪水のどちらを想定するかで違う。地震であれば学校の校庭、洪水であれば高い場所に避難すべきである。洪水の時には浸水しにくい高い場所に避難するといった考え方はあるのか。
- ・大里東小学校は線路や地下道を渡って通学するケースがある。下津小学校に避難する方が近くて安全な場合もある。
- ・下津地区など人口の増加地区がある。避難所の収容能力は足りているか。何の想定に基づき収容人数を計算しているのか。

広報広聴委員長のまとめ

多くの皆様のご理解とご協力のもと、今年度も意見交換会を開催することができました。あらためて感謝申し上げます。

今年度は、市内公立小学校の保護者さんの代表にご参加いただき、「稲沢市の子どもたちのより良い教育環境について」という大きなテーマを設けることで、色々な視点から意見を多くいただきたいという思いと共に、地区でグループ割を行わないことで、市内の各学校の状況や意見・課題を皆さんにも共有していただきたいと思いのもと実施しました。

当日は「災害対応」「通学の安全性」「熱中症対策」「タブレット端末」「学校との連携」など保護者目線でしかわからない多くの生の声を聞くことが出来ました。いただいた貴重なご意見は、今後の議会活動に役立てていくと共に、大切な子どもたちの教育・育成環境を整える努力をしていきたいと思います。

ご多忙の中また休日にも関わらずご参加をいただき本当にありがとうございました。